

海外論文情報

From **PEDIATRICS**

(Official Journal of the American Academy of Pediatrics)

July 2020 VOLUME 146/ISSUE 1

主題より

- COVID-19の小児患者は、成人患者とは異なる疫学的、臨床的、およびX線所見を呈し感染したほぼ半分は他の一般的な呼吸器感染症と重感染
- 定期的な小児予防接種やインフルエンザについての親のワクチン忌避：2019年全米調査では1/15人の親が定期的ワクチン忌避、1/4人がインフルエンザワクチン忌避傾向
- HPV ワクチン接種率の改善：段階的くさび型無作為比較試験
- 10歳代の若者における電子たばこまたは Vaping 製品使用による肺疾患の臨床的特徴
- RS ウイルス (RSV) による入院児の調査 (2015~2016年)：RSV は入院児の1/3を占め、大部分は2歳未満、またその1/5近くが早産の履歴あり
- 小児てんかん、知的障害、および視覚・聴力障害の2017年 Global Burden of Disease Study：全世界26億人の子どもと青少年のうち11.2%がいずれかの障害を持ち、乳児期から青年期に増加傾向
- カリフォルニア州の超低出生体重児の疾患と生存率：2008~2017年までの調査では壊死性腸炎および気管支肺異形成の低下により生存率改善
- 出生前の抗うつ薬使用と新生児の転帰：治療の有効用量の継続で母親の病状は改善されるが新生児呼吸窮迫のリスクが高まり、中~高用量で早産がみられる
- 敗血症のケアのためのプロトコールによる規制：規制後小児の死亡率が低下
- 院内での調製人工乳と母乳授乳期間による離乳への影響
- 青年が献血した後の鉄分の補給と回復
- 青年期の精神的健康問題と自殺念慮のリスク：自殺念慮は抑うつ症状や問題行動の多い13~17歳女児に多くみられる
- 2006~2015年の米国外来医療調査で2~24歳の ADHD 患者を対象に、ADHD 薬および向精神薬のポリファーマシーの状況を調査：若年 ADHD 患者でポリファーマシーが増加
- 不安障害のある若年成人のベンゾジアゼピン (BZP) による治療と骨折のリスク：不安障害のある小児の BZP 治療で骨折のリスクが増加するが、若年成人でも注意が必要

■急性損傷後の脳震とう後遺症に関する親子の同意

■先天性心疾患手術（CHS）後の長期的な社会的転帰：フィンランド統計局によると小児期に CHS を受けた患者は重症度に関係なく教育・就職等で不利

■新生児オピオイド離脱症候群を評価するためのコアアウトカムセットの作成

■幼児のスマートフォンとタブレット端末の使用

■将来の小児科医が行動やメンタルヘルスに問題のある子どもをケアする能力

■バーモント・オックスフォードネットワークの新生児周産期医療フェロシッププログラムは医師が超低出生体重児の蘇生法を学習するのに良い教材

新型コロナウイルス（COVID-19）関連

■ COVID-19パンデミックにおける医療ケア，虐待および医療の複雑さを持つ子どものリスクの軽減

■ COVID-19の流行禍における移民家族の子どもたちを，外国人排斥や衛生環境から適切に保護する方策

■脆弱な若者と COVID-19パンデミック

■成人のパンデミック時における小児病院の集中治療室の配分

■ COVID-19の子どもの肺超音波診断

レビュー

■小児かかりつけ医による子育てへの介入：系統的レビュー

■ディスレクシアの早期発見と小児診療への影響

特集

■重症先天性心疾患のパルスオキシメトリースクリーニングによる最新の話題

■先天性サイトメガロウイルスを対象としたスクリーニングの倫理的および公衆衛生への影響

■ COVID-19パンデミック時の医療資源の配分作成のストラテジー

症例報告

■2019年の新規コロナウイルス（SARS-CoV-2）によるニューヨークの3人の発熱乳児の症例

■呼吸サポートを必要とする低酸素血症を伴う初期の新生児 SARS-CoV-2感染症

■呼吸不全と重度の血小板減少症を呈する COVID-19の重症小児例

■血清クレアチニン値の上昇：これは腎不全？

■ 青年期における新しい精神賦活薬フルアルプラゾラムについて

■ 遺伝的多型 (CYP2D6遺伝子) を持つ乳児における抗不整脈薬フレカイニドの影響

詳細は下記の web site を参照

<https://pediatrics.aappublications.org/content/146/1?current-issue=y>

同様の情報をホームページでも提供しています。

<http://shoni-iji.com/>

お知らせ

令和2年度公益財団法人小児医学研究振興財団 研究助成事業のお知らせ

公益財団法人小児医学研究振興財団では、小児科医・小児医学研究者に対する研究費・海外留学費用の助成を実施しております。詳しくは下記財団ホームページにてご確認ください。

1. 研究助成金支援 (国内での研究)

- ① 小児医学領域全般に関する研究費助成
1件200万円以内：総額700万円
- ② アサヒグループ研究助成金 (乳幼児栄養に関する研究費助成)
2件程度：総額100万円
- ③ 小児の社会医学的研究 (疫学・統計含む)
1件100万円以内：総額300万円
- ④ ★令和2年度より開始
学校健診・診療情報データベース利用による研究助成金
リアルワールドデータ社から研究に必要なデータセットを無償提供。
3件以内：1件30万円

2. 海外留学フェロースhip (日本国内の研究者向けの海外留学助成)

- ① 小児医学領域全般に関する海外留学奨学金
総額350万円
- ② 子どもの心の問題に関する海外留学奨学金
1件150万円

募集期間：令和2年11月2日 (月)～令和2年12月2日 (水)

募集締切：令和2年12月2日 (水) 必着

公益財団法人小児医学研究振興財団事務局ホームページ

<http://www.jfpedres.or.jp/>